

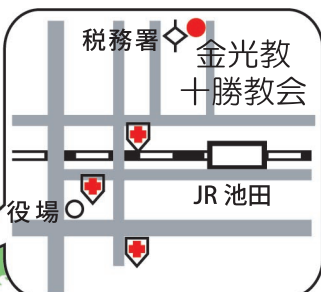
No.78, 2018, Sep.,

9 月・秋季霊祭号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



Facebook「金光教十勝教会」



金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9

十勝教会 だより 78



facebook



HP(PC 専用)



金光教公式 HP

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

平成三十年秋季霊祭ならびに
二代教会長玉置 實先生四十年祭を迎えて

金光教十勝教会

閑話休題

九月六日、台風が通過した直後の北海道を大地震が襲いました。

十勝や釧路など道東ではたびたび大きな地震が起きているので、みな大地震と言えどもちやうど意識していたのでしょうか、今回のように厚真・早来で大地震が起きたことは、道民としては想定外だったのではないのでしょうか。

しかも、地震の影響で北海道全土が停電するという前代未聞の事態、さすがに不安になられた方も多かったでしょう。

被災された皆様にお見舞い申しますと共に、亡くなられた方々の霊の立ち行くと一日も早い復旧復興を御祈念いたします。

おさな子がおやの言葉をうたがわね
すぐなる心もまたほしけれ

これは二代教会長・玉置實先生が師匠である矢代次先生（函館教会二代教会長）からいただいた生涯大事にされたお歌です。

さらに實先生は、教祖様の次の御理解をお大事にされていたとい

います。
疑いを離れて広き真の大道を開き見よ、我が身は信徳の中に生かされてあり

玉置實先生は明治三十四年、後に十勝教会初代教会長となられる玉置藤太・ミツ家の三男として誕生されました。一家が更別村の旧イタラタラキ（現・以平）の原野に入植し、あまりの厳しさに開墾を断念し今の池田に移住する一年前のことでした。

池田に移り住んでからのことです。兄弟が次々と重い病気に罹り、實先生も肋膜炎を患います。病院に葉にと手を尽くしますがよくならないことはありませんでした。

そんな一家を金光教の信者であつた新谷かよさんが見るに見かね、「神様に助けてもらいなさい」と一家を導かれたのです。

家長である藤太先生が「信心します」と答えた後、不思議なことに、みな病気が快方に向かった

といひます。

このことがあつて藤太先生は、人の力ではどうすることもできない神様のおかげの中に生かされていることに気付かされたのです。

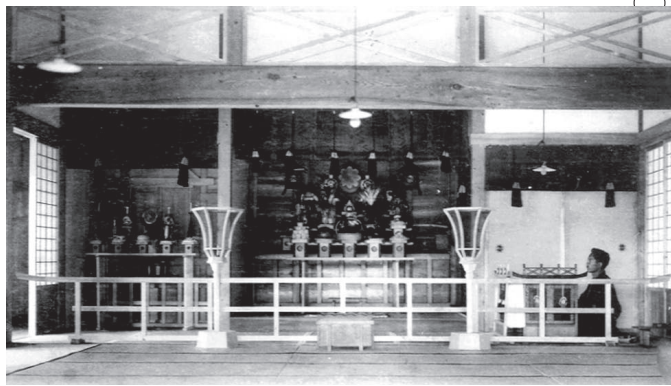


写真 昭和 5 年の十勝教会お広前
教会設立 10 年の年、新築なったお広前です。
写真ではわかりづらいですが、右端に實先生が座られています。

その後、藤太先生は金光教の教師になられ、大正九年、十勝教会の初代教会長を拝命します。

その少し前、實先生十七歳、「将

来は農場を経営するか？神様の御用をするか？」と父から問われた實青年は「神様の御用」と答えられたそうです。

そして教会設立直後の大正十年、教会の経済を支えるため實青年は妹たちと共に浦士別（網走）の開墾に出仕します。未開の原野を切り開く重労働、元々病弱であつた實先生は途中病に倒れることもありました。それでも二年間も開墾作業に励めたのは、自分をはじめ家族のいのちを救ってくださった神様、その「神様の広前を」支えるという使命感によるのではないのでしょうか。

その後實先生は函館教会、本部での修行を経て金光教の教師になれるのですが、今度は本部修行

中の大正十五年、父である初代教会長が亡くなつてしまします。

本来であれば、本部から教会に戻れば教会長の許で教会御用や信心の修行を積むところ、教会に戻つても最初から何事もひとりでもせねばならない状況になつてしましました。

しかも、初代が教会で御用をされた期間は六年ほどで、教会自体が未だ新規の布教に近い状態にあつたのです。その中での広前御用は大変な苦労があつたと思われまします。

○
そこで實先生は、再び函館教会へ修行に出られます。三ヶ月ほどの修行でしたが、その中で冒頭の矢代先生のお歌をはじめ、お取次のおかげを蒙られたようです。

その後も實先生は様々な難儀に

遭われますが、何事も信心で乗り越えられ、池田町のみならず道東一円に金光大神の信心を広げる働きを現していけます。

神様を信じ、神様のおかげにかされていることを自覚し、何事も神様のご都合のままに御用を務められた七十七年の生涯でした。

○
今年、實先生がお亡くなりになられてちょうど四十年になりました。實先生のようにとはいきませんが、小さな子供が親に付き従うように、私たちも何事も神様にお任せし、神様のご都合にお使いただけよう、信心をの稽古をさせてもらいましょう。

十勝教会これからの祭典日程

大祭前大掃除・大祭打ち合わせ

11月11日(日)

生神金光大神大祭 11月18日(日)

薫別講社・生神金光大神大祭

12月 5日(水)

越年感謝祭 12月31日(月)

※あらためてご案内いたします

道東地区教会・関係教会大祭日程

釧 路 10月21日(日)

※布教110年祭

北 見 11月 3日(祝)

帯 広 11月 4日(日)

網 走 10月28日(日)

滝 上 11月11日(日)

夕 張 11月 3日(祝)

函 館 11月13日(水)

教会 日 誌 平成30年4月1日から7月31日まで

4月1日 勸学祭 執行。

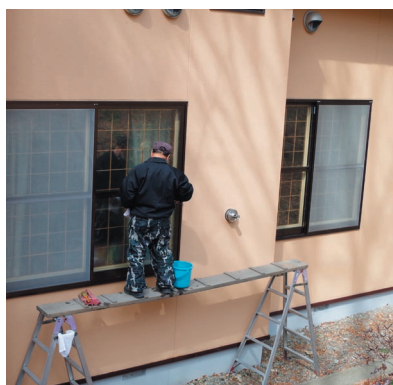
4月7日 帯広市、M家、式年祭。

4月8日 大祭前大掃除。（このページの写真）

4月13日 大祭前ご用奉仕。14日まで。

（次ページに写真）

4月15日 天地金乃神大祭 執行。（次ページに写真）



このページの写真
大祭前大掃除



掃除が終わり、2年後に控えた教会設立
100年記念祭の横断幕を掲示しました ⇒



写真・上 大祭前の御用奉仕。

写真・下 天地金乃神大祭。今年の春の御大祭は雪の御大祭となってしまいました。





祭典後の直会宴



前項 網走教会長・菊川先生(右)
教話 帯広教会・田中先生(左)



6月10日	5月27日	5月24日	5月20日	5月13日	5月8日	5月3日	4月29日	4月28日	4月22日
月例霊祭に併せ境内整美奉仕。	釧路教会大祭、交流参拝。	帯広市、I家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。	奉祝参拝。 網走教会布教九十五年記念大祭、	函館教会大祭、教会長祭員御用。	薫別講社・天地金乃神大祭執行。	北見教会大祭、千鶴子先生教話御用、交流参拝。	夕張教会大祭、教会長祭主奉仕、交流参拝。	滝上教会大祭、交流参拝。	帯広教会大祭、交流参拝。

6月16日 余市町、I家、感謝祭・例年霊祭。

6月24日 釧路市、I家、二柱霊神式年祭。

6月30日 上半期感謝祭 執行。

7月14日 全国信徒会大会、札幌市、6名参加

7月21日 月例祭に併せ境内整美の日。

7月28日 北見市、S家、式年祭。

7月28日 道東地区教会連合会交流会、釧路教会、3名参加。(次ページに写真)

7月29日 道東地区教会連合会研修会・「神人あ
いよかけよの生活運動」道東地区集会、
釧路教会、4名参加。(次ページに写真)

十勝教会設立百年記念祭 は

二〇二〇年 七月十二日(日)です

十勝教会設立一〇〇年記念祭奉迎委員会



写真 境内整美の日。今年の6月は暑い日が続き境内の草木も成長が早かったようです。



写真・上 道東地区教会連合会交流会。今年は釧路市防災センターでの防災体験、旧太平洋炭礦展示館の見学をしました。

写真・下 道東地区教会連合会研修会。天地金乃神様は「身近な神様」だということについて、「神様に手紙を書くとしたら」というテーマで研修をしました。

